

「自治力UP」推進協議会（第6回） 会議録

1 日時 平成21年1月30日（金）午後3時30分～午後4時30分

2 場所 板橋区役所本庁舎11階第三委員会室

3 出席者

（1）「自治力UP」推進協議会委員（敬称略）

片岡輝（会長）、渡部茂（会長代理）、中村昭雄、鈴木孝雄、河野寛、
鈴木静雄、若菜美智子、安井賢光

<欠席>塩野敬祐、吉川宏、原田曠暉

（2）区側出席者

政策経営部長、政策企画課長、政策企画担当係長2人、その他事務局職員2人

4 議題

「自治力UP」推進協議会・最終報告について

5 会議録

政策企画課長 定刻になりましたので、ただいまから第6回「自治力UP」推進協議会を始めさせていただきます。一昨年の11月に本協議会を設置して以来、一年以上にわたり熱心にご議論をいただきまして、ありがとうございました。本日、その成果をとりまとめまして、区長に報告していただきたいと考えております。なお、区長は4時10分ごろにまいる予定となっております。報告書をご提出いただいた後、委員の皆様と意見交換する時間を少し設けたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、会長からご挨拶をお願いいたします。

会長 昨今の経済状況が悪化する中で、行政に何をやってもらうかではなくて、区民一人ひとりに何ができるかということが問われる時代になってきたのではないかと感じております。それに先立ちまして、この協議会で自治力を向上させるための具体的な方策について議論し、その基本的な方向性がまとまってきたのではないかと思います。今日は、その成果を報告書にまとめまして、区長に提出したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

政策企画課長 ありがとうございました。次に、資料の確認をさせていただきます。

- 資料確認 -

それでは片岡会長、審議のほど、よろしくお願いいたします。

会長 それでは、次第に沿って進めてまいりたいと思います。前回の会議において、中間報告をとりまとめましたが、それに対して区民の方々にパブリックコメント（意見）を募集し、いくつかご意見等をいただいておりますので、それに対

する協議会としての考え方を確認したうえで、今まで議論してきたことを最終報告という形にまとめて、区長に報告したいと考えております。最終報告（案）については、事前に事務局から送付されていると思いますので、パブリックコメントに対する協議会としての考え方、及び中間報告から変更・修正があった点を中心に事務局から説明をお願いいたします。

また、併せて、この最終報告を受けて、区が今後どのように動いていくのかについても、説明をお願いいたします。

政策企画課長 - 資料説明 -

会長 ありがとうございます。地域会議が18か所できると思いますが、その連合組織みたいなものができるのでしょうか。資料3-1、3-2の今後のスケジュールの中で、「自治力UP推進会議」というものが出てきますが、これがその連合組織のような役割を担うことを想定しているのでしょうか。

政策企画課長 「自治力UP」推進会議は、地域会議を発足させるまでの組織であると考えています。モデル実施後、各地域に地域会議ができてくれば、その連合組織が必要になってくると思われますが、それはその段階になってから考えていけばよいのではないかと考えています。

会長 そういった見通しをどこかに書いておかないと、何か分割統治するのではないかとといったようなイメージを持たれるのではないかと考えました。

渡部会長代理 地域会議のモデル実施の検証はどこで行うのでしょうか。モデル実施した地域会議自身が検証するのでは、客観性に欠ける可能性があります。客観的に評価・検証する組織がないと普遍化するの難しいのではないのでしょうか。

政策企画課長 基本的には、「自治力UP」推進会議で検証を行うことを想定しておりますので、地域会議のモデル実施期間によっては、「自治力UP」推進会議の設置期間を延ばす必要があると考えております。

渡部会長代理 先ほどの説明で、「自治力UP」推進会議は、地域会議を発足させるまでの組織だということでしたので、どこでモデル実施を検証するのか疑問に思ったのですが、設置期間を延ばすということでも検討していただければと思います。

政策企画課長 「自治力UP」推進会議のスケジュールをもう一度見直したいと思います。また、地域会議の連合組織についても想定しているのであれば、それを表現した方がよろしいかと思います。

会長 その他に何かありますでしょうか。

河野委員 老人クラブや農業委員会の方が専門部会の委員として参加されて、色々のご意見をいただいていると思うのですが、この報告書案にはその文言が入っていません。地域会議が開催されるとすれば、老人クラブや農業の方にも積極的に参加していただきたいということだと思っておりますので、その点を配慮した方がよいのではないのでしょうか。

政策企画課長 地域会議のイメージ図をつくるときに、最初は老人クラブや農業団体などを書いていたのですが、地域で活動する団体が多すぎまして、かえってわかりにくくなってしまい、「その他の団体」という括りに整理した経緯があり

ます。河野委員ご指摘のとおり、専門部会でご意見をいただいておりますので、配慮した内容となるよう、もう少し工夫したいと思います。

会長 報告書の「むすび」の中で、「『自治力UP』推進協議会において積み重ねられた議論からは」の前に、「専門部会における議論を踏まえ」という文言を加えていただければ、今のご意見に応えられるのではないかと思います。

鈴木（静）委員 地域が崩壊している主な原因は、マンションと町会・自治会の関係にあると思います。板橋区では、分譲マンションが約25%、賃貸を合わせると60%近くの人が集合住宅に住んでいて、分譲マンションと賃貸マンションの住民が町会・自治会に加入しない理由は何かということ、これを解決しなければならないと思っています。マンションと地域がどうやって融合していくかということのビジネスモデルをやらうと、町会連合会会長である鈴木（孝）委員と考えております。マンションの管理組合は「その他団体」に含まれているということですが、すけれども、はっきりと書くべきではないかと思います。

会長 この報告に基づいて、今後具体的に展開していくところで、各委員がおっしゃられたことに、当然配慮していただかなくてはならないと思います。

細かい点につきましては、今後も修正・加筆を予定するというので、報告書をまとめさせていただいてよろしいでしょうか。

- 全員了承 -

河野委員 「地域会議（仮称）」となっておりますが、名前は今後募集したりして、別に付けることを想定しているのでしょうか。

政策企画課長 この報告書は協議会が出されるものですから、それを区が受け止めて、どういった名称にするかということもありますし、地域会議をモデル実施するまで少し時間がありますので、この後設置いたします「自治力UP」推進会議において、内容にふさわしい名称となるよう、検討されることも想定しております。

会長 この協議会の報告段階では、「地域会議（仮称）」ということによろしいでしょうか。

- 全員了承 -

会長 それでは、このような形で報告書をまとめたということで、区長に報告書を提出したいと思います。ご議論ありがとうございました。

政策企画課長 それでは、片岡会長から坂本区長に報告書をお渡しいただきたいと思います。

- 会長から区長へ報告書を提出 -

政策企画課長 それでは、区長から挨拶を申し上げます。

区長 本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございました。一年以上にわたってご議論いただき、また、専門部会でも関係の方々にご議論をいただきまして、板橋区が今進めております「自治力 UP」という大きなテーマについて、おかげさまで報告書を頂戴いたしました。皆様の熱意に、改めまして感謝申し上げます。

私のマニフェストに掲げております「あたたかい人づくり」「元気なまちづくり」「安心・安全」、これは「あたたかい人にあふれて、まちは元気で、安心・安全な地域社会をつくる」という一つのテーマでございます。その根幹を成すのは、この「自治力 UP」でございまして、「3つのナンバーワン」の下にあります「10のいたばし力 UP」の中の大きな力の一つでございます。「自治力 UP」が今後どのように進むかによって、区政が大きく変わってくるだろうと思っております。専門部会の報告書の中で、地域の中で活躍するボランティアグループや町会・自治会、企業等の活動等を拝見しながら、改めまして板橋区にはそういった潜在能力があるのだということを確認し、大変嬉しく思った次第です。

反面、少子高齢化の影響もありますが、昔から「面」で支えてきた地域が、「線」から「点」になってしまっているという社会状況が指摘されております。そういった状況の中で、この「自治力 UP」の取り組みによって、さらに地域社会づくりを、ある意味では根本から見直しながら、地域と一緒に進めていく必要があると考えております。

そういった意味では、この「自治力 UP」推進協議会のご提言は、大変具体性がございますし、板橋区民全員の幸福を願ってつくられたということを感じますので、大変ありがたい貴重なご意見だと思っております。今度は、いただいたご意見を我々区がどのように生かしていくかということが重要になってきます。今後皆様方からご意見をいただきながら、しっかりと「自治力 UP」を具現化し、地域の「あたたかい人づくり」「元気なまちづくり」「安心・安全」につなげていきたいと考えております。

抽象的な内容で、委員の皆様にはご苦勞があったのではないかとと思いますが、改めましてお礼を申し上げたいと思っております。今後とも、引き続きご指導とご支援をお願いいたします。

政策企画課長 続きまして、片岡会長からご挨拶をお願いいたします。

会長 委員の皆様方、長い間本当にありがとうございました。専門部会の方々から大変貴重なご意見をいただき、地域における協働の実態の把握から始まりまして、どのように課題を解決すれば自治力がアップするかということについて熱心に議論していただき、今日に至りました。その中で出されたアイデアとして、地域会議というものをつくって、試行錯誤しながら全地域に広げていくというスケジュールがまとまりましたので、区長さんには、ぜひ、一歩ずつ具体的に進めていっていただきたいと願っております。

それでは、折角、区長さんがお見えになっておりますので、委員の皆様からも一言ずつ熱い思いを直接お伝えいただければと思っております。

渡部会長代理 「自治力 UP」というのは、板橋区がめざしている「新しい公

共」を実現するうえで、極めて重要だと考えております。したがって、この協議会を立ち上げていただいたことに、まず感謝申し上げますと同時に、我々が提言いたしました地域会議を具体的にどこまで進められるかによって、板橋区が本当に「自治力 UP」を望んでいるのかが問われると思っております。区長には、この地域会議を必ず実現していただけるものと信頼申し上げますので、どうか、この板橋区を、もっと元気あるまちにさせていただきたいと思っております。

鈴木（静）委員　　すばらしい、新しい自治のかたちが見えてきたと感動しております。ただし、テーマが「自治力 UP」という、区民にとって大変重要なものであるにもかかわらず、パブリックコメントが4名の方からしかいただけなかったということが残念です。広報紙やインターネットに募集記事を掲載するだけでなく、パブリックコメントを多くの人から出してもらえるように、もっと積極的な働きかけをすべきだと思います。この点は、区民参加を推進するうえで、とても大事なことだと思いますので、今後、よろしく願いしたいと思っております。

若菜委員　　私は、このような会議に初めて参画させていただいて、啓発されることが多かったですし、大変勉強になりました。今回の報告書の目玉は、やはり地域会議の設置ということだと思います。地方自治の大きな柱の一つである住民自治がどのような形で根付いていくのか、時間はかかるかもしれませんが、自治基本条例等の制定と相俟って、今後を楽しみにしております。

河野委員　　これが基本的な考え方として、今後、地域会議が設置されていくのでしようけれども、地域というのは、行政と違って縦割りではありません。地域というのは平坦なのです。今後、区役所内部の関係各課が集まって検討が進められる中で、地域では色々な意見が出てくるとは思いますが、それを縦割りの中に当てはめられては困ります。恐らく、各地域で地域会議が設置されて、お互いに競い合いながら「自治力 UP」を図っていこうと思っておりますが、その時に、行政の縦割りに当てはめられては、地域はとてもやりづらいたらうと思っております。その点を区長さんをお願いしたいと思っております。

鈴木（孝）委員　　この協議会で議論してきたテーマは、まさしく私ども町会・自治会にかかっている命題であると自覚しております。戦後、マッカーサー体制が解除になってからの隣組としての町会・自治会の発足以来、地域コミュニティの活性化が我々町会・自治会に課せられた命題であり、微力ながら努力してまいりました。私は、特に二点ほど申し上げたいと思っております。一つは、マンションという住形態の変化が、想像以上に地域コミュニティに影響を及ぼしております。さらに、戦後の教育がそれに輪をかけているところがありまして、これは、一つの町会や区だけでは解決できず、国の問題でもありますが、住環境の変化と地域コミュニティの活性化の問題について、この協議会でも議論していただき、今後、地域全体で協働して解決していく方向性が出されたことについては、大変心強く思っております。もう一点は、日本中で少子高齢化が進む中で、どの分野においても少子高齢化が影響しております。町会・自治会が高齢化しているかどうかということが問題ではなく、すべての分野において、少子高齢化の影響を考えるべきであると思っております。我々は、その辺りを承知したうえで、微力ながら日々努力

しているところですが、もう少し行政の方で出生率を高める努力をしてほしいと思いますし、教育も改善してほしいと願っております。この「自治力 UP」がその礎になればありがたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

中村委員　この報告書のキーワードは、「協働」と「参加」という二つの言葉だと思います。非常に高い目標であり、理想であって、誰も反対はしないだろうと思います。しかし、現実には険しい道のりがあると思います。私も大学と区との協働ということをやりましたけれども、お互いに心が通じて話し合えるまでに10年近くの年月がかかっております。少なくとも、これからは座っていれば何かやってくれるということはありません。「協働」とは、働くし、動くし、汗をかいて作りあげていくものだという事、時間がかかるものだという事、協働の原点に立ち返って理解したうえで、住民参加・住民自治が実現されて、本物の板橋区の「自治力 UP」につながっていくのだと思います。今後も微力ながらお手伝いさせていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

会長　昨日から今日にかけて、病児保育に関する板橋区の先進的な取り組みがニュースで話題になっておりますが、「自治力」に関しましても、全国をリードするような自治体になっていただきたいという願いを込めまして、この協議会での議論を終わりにしたいと思っております。事務局から何かありましたらどうぞ。

政策企画課長　本日、最終報告書をご提出いただき、誠にありがとうございます。委員の皆様方には、専門部会の委員の皆様も含めまして、長い間にわたり、板橋区の「自治力 UP」のために熱心にご議論・ご検討いただきまして、誠にありがとうございました。今後、この提言を受けまして、「自治力 UP」を実現し、「3つのナンバーワン」と「10のいたばし力 UP」に向けて、全力で邁進してまいりたいと思っておりますので、今後とも板橋区政に対するご理解とご協力・ご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

以上